



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 高砂鐵工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5458 URL http://www.takasago-t.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大植 啓一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 畑田 正樹 TEL 03-5399-8111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,152	20.5	287	74.7	232	71.7	174	71.7
29年3月期第2四半期	4,275	△8.9	164	3.5	135	7.9	101	△33.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 181百万円(72.0%) 29年3月期第2四半期 105百万円(△32.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	58.26	—
29年3月期第2四半期	33.94	—

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	8,171	2,498	30.6	832.19
29年3月期	7,942	2,317	29.2	771.79

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,498百万円 29年3月期 2,317百万円

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

平成30年3月期の期末配当予想額は現時点におきましては未定とさせていただきます。予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示いたします。

なお、当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	15.1	550	30.3	480	28.3	380	△11.4	126.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	3,008,000株	29年3月期	3,008,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	5,210株	29年3月期	5,210株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	3,002,790株	29年3月期2Q	3,002,808株

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の連結業績予想について）

当社は、平成29年6月23日開催の第145期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の連結業績予想は以下の通りとなります。

平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 12円66銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、米国政権の経済・貿易政策、英国のEU離脱や中国をはじめとした新興国経済の景気動向などの主に海外経済の不確実性により、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

鉄鋼業界におきましては、自動車等製造業向けの需要は堅調に推移しており、建設分野の需要回復も本格化してまいりました。

このような経済状況の下で、当社グループは、中期計画（平成27～29年度）の最終年度に入り、鉄鋼製品事業において、みがき帯鋼事業およびステンレスエンボス製品、加工品事業に集中する事業体制の下で収益体質強化と強靱な財務体質確保に徹底して取り組んでおります。

主力のみがき帯鋼では自動車部品向け受注数量が着実に増加したのに加えて、原料価格の値上がり分の製品価格への転嫁を進めました。ステンレスの業績も総じて堅調で、とりわけ加工品や子会社でのステンレス鋼材の卸販売が好調に推移いたしました。また、全社的に原料費や固定費等のコスト管理にも継続して取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,152百万円（前年同期比20.5%増）と増収となり、利益につきましても営業利益は287百万円（前年同期比74.7%増）、経常利益は232百万円（前年同期比71.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は174百万円（前年同期比71.7%増）となり大幅な増益を確保することができました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は8,171百万円となり、前連結会計年度末より229百万円増加いたしました。これは主に減価償却進捗により有形固定資産は減少しましたが、売上増加に伴い受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債総額は、5,672百万円となり、前連結会計年度末より47百万円増加いたしました。これは主に借入金と社債は減少しましたが、支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

純資産につきましては、2,498百万円となり前連結会計年度末より181百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の当四半期における修正につきましては、平成29年10月31日発表の「平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,191	1,315
受取手形及び売掛金	2,501	2,677
商品及び製品	484	558
仕掛品	278	292
原材料及び貯蔵品	314	334
繰延税金資産	64	72
その他	18	19
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	4,850	5,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,022	1,001
機械装置及び運搬具(純額)	1,606	1,448
土地	275	275
その他(純額)	27	25
有形固定資産合計	2,931	2,751
無形固定資産	51	47
投資その他の資産		
投資有価証券	18	21
繰延税金資産	35	34
その他	59	52
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	108	104
固定資産合計	3,091	2,903
資産合計	7,942	8,171

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,211	2,711
短期借入金	766	575
リース債務	65	50
未払法人税等	78	76
未払消費税等	4	30
賞与引当金	48	69
その他	568	538
流動負債合計	3,743	4,052
固定負債		
社債	375	250
長期借入金	354	225
リース債務	47	28
繰延税金負債	2	3
役員退職慰労引当金	102	112
退職給付に係る負債	860	878
資産除去債務	33	33
その他	104	88
固定負債合計	1,880	1,619
負債合計	5,624	5,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	885	1,060
自己株式	△6	△6
株主資本合計	2,383	2,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	5
退職給付に係る調整累計額	△69	△65
その他の包括利益累計額合計	△65	△59
純資産合計	2,317	2,498
負債純資産合計	7,942	8,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,275	5,152
売上原価	3,671	4,356
売上総利益	604	795
販売費及び一般管理費	439	507
営業利益	164	287
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
その他	4	2
営業外収益合計	4	2
営業外費用		
支払利息	28	15
環境対策費	—	38
その他	5	4
営業外費用合計	34	58
経常利益	135	232
特別損失		
環境対策費	18	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純利益	116	232
法人税、住民税及び事業税	6	64
法人税等調整額	7	△7
法人税等合計	14	57
四半期純利益	101	174
親会社株主に帰属する四半期純利益	101	174

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	101	174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
退職給付に係る調整額	3	4
その他の包括利益合計	3	6
四半期包括利益	105	181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105	181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。